

事務事業名		簡易水道施設等維持管理事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造			事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	上水道・簡易水道の整備					16	01	01	01	02
根拠法令											
所 属	部課名	都市整備部下水道事業所									
	係 名	建設係	電話	0192-27-3111							
			内線	198							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(期間限定複数年度のみ)						
本事業は、三陸町にある越喜来簡易水道、本郷簡易水道、根白簡易水道、甫嶺簡易水道、小石浜簡易水道、砂子浜簡易水道、綾里簡易水道の施設・設備の機能を常に良好な状態に保つための維持管理を行い、安全で安定した水道水を供給するための事業であり、設備の保守点検、維持・修繕、水質検査等が主な内容である。 この中には、必要な情報を取得するため水道事業についての調査・研修等を行なっている日本水道協会の会員となり負担金も含まれる。 また、綾里川河川管理者である岩手県と、水利使用者である水道管理者大船渡市との間で平成13年に締結している「綾里川ダム管理協定」に基づき、綾里簡易水道の水源となっているダム及び附帯する建物、機械、その他の施設等の年度毎の管理費用について、協定に定める持分の費用を負担する。主な業務は年度末の県との協議及び負担金の支払いであり、事業費は、ダム及び附帯する建物、機械、その他の施設等の年度毎の管理費用として支出される。					総 投 入 量 (千 円)	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金			
								都道府県支出金			
								地方債			
								その他			
								一般財源			
								事業費計 (A)		0	
人 件 費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間										
	人件費計 (B)		0								
	トータルコスト(A)+(B)		0								

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標				
手段(主な活動)	前年度実績(前年度に行った主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
		名称	単位	
膜ろ過設備保守点検、綾里浄水場膜モジュール更新、電気計装設備保守点検7箇所、量水器交換、施設管理委託、水質検査、各簡易水道漏水修繕・施設修繕等		ア	膜ろ過設備保守点検	箇所
		イ	電気計装設備保守点検	箇所
		ウ	水質検査	箇所
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	膜ろ過設備保守点検、綾里浄水場膜モジュール洗浄、電気計装設備保守点検7箇所、量水器交換、施設管理委託、水質検査、各簡易水道漏水修繕・施設修繕等	対象指標(対象の大きさを表す指標)		
		名称	単位	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	三陸町にある簡易水道7施設	カ	給水区域面積	ha
		キ	計画1日最大給水量	m³
		ク	計画給水人口	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	修繕が必要な箇所を修繕する。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
		名称	単位	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	住みやすい生活環境になる。	サ	修繕を行なった箇所	箇所
		シ		
		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (目標)	22年度 (目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円	52,791	62,799	52,327	57,858	70,322	55,395
		一般財源	千 円						
	事業費計 (A)		千 円	52,791	62,799	52,327	57,858	70,322	55,395
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時 間	2,850	2,600	990	800	800	800
		人件費計 (B)	千 円	11,400	10,400	3,960	3,200	3,200	3,200
		トータルコスト(A) + (B)		千 円	64,191	73,199	56,287	61,058	73,522
活動指標		ア	箇所	4	4	4	4	4	4
		イ	箇所	7	7	7	7	7	7
		ウ	箇所	7	7	7	7	7	7
対象指標		カ	ha	9.9	9.9	9.9	10.6	10.6	10.6
		キ	m³	3,009	3,009	3,009	3,479	3,479	3,479
		ク	人	9,488	9,488	9,488	7,918	7,918	7,918
成果指標		サ	箇所	50	63	50	60	40	50
		シ							
		ス							

事務事業ID	0704	事務事業名	簡易水道施設等維持管理事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

簡易水道施設の安定した運転と老朽化に伴う漏水・施設の故障等に対応するため、簡易水道事業の開始時から行なっている。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

給水区域、給水人口の拡大に伴い、維持管理を行なう対象施設が増えてきている。また、施設の老朽化も進行しており、維持管理に要する費用が増加傾向にある。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由]  簡易水道施設の良好な維持管理は、良質な水を安定的に供給することにつながり、その結果、快適な生活環境になる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由]  上水道の整備は水道法で定められた地方公共団体の義務であり妥当である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由]  既存施設の維持管理に要する費用であり拡大・縮小の余地はない。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由]  既存施設の機能確保のための事業であることから成果の向上余地はない。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容]  事業を廃止・休止すれば、安全で安心な水の供給ができなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある  (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由]  類似事業は他になく、ライフラインに関わる極めて公共性の高い事業であるため、現状では他の方法は考えられない。 ☒ 他に手段がない [理由] 
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由]  既存施設の維持管理に要する費用であり事業費を削減することは困難である。しかし、適切な維持管理により施設の耐用年数をより長くすることに努めなければならない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由]  保守点検業務、施設監視業務等かなりの部分をすでに委託し、職員の業務時間を削減するよう努めており、これ以上削減することは困難である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由]  簡易水道使用者からは給水負担金及び水道料金を徴収しており負担は適正である。

事務事業ID	0704	事務事業名	簡易水道施設等維持管理事業
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 特になし									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 本事業は、簡易水道施設を適切に維持管理していく上で必要な事業であり、安定した水道水の供給による住みやすい生活環境にしていくために引き続きすすめていく必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名)	原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	下水道事業所長	

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 特になし									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 安定した水道水の供給と、快適な生活環境を維持するため簡易水道施設を適切に管理する必要がある。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
